

令和4年度 学校評価報告書

丹波篠山市立味間小学校

校長 松 笠 勝 也

1 学校教育目標等

夢や目標を持ち、将来にわたって学び続ける児童の育成

2 今年度の重点目標

- (1) 夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する児童の「生きる力」を育む
- (2) 確かな学力の育成をめざし、自ら学び自ら考える授業を創造する
- (3) 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る
- (4) 保護者・地域との連携を深め、ふるさと味間に根ざした「地域とともにある学校づくり」を探究する。
- (5) 安全安心な学校づくり・学級づくりを基盤とした、豊かな人間関係と人権感覚を育成する。
- (6) 自分の健康や体力に興味をもち、体育やスポーツ活動の楽しさや喜びを味わわせ、体力・運動能力の向上を図る。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
キャリア教育	児童に夢や目標を持たせ、学ぶことの意義について指導している。	B	様々な学習活動で児童一人ひとりの言動に目を向けたり、耳を傾けたりしながら、学校生活全体を通して、児童が夢や目標を持って取り組めるように指導していく。
学習指導	児童一人一人が1時間の学習に満足できる授業にする。	A	全ての子どもにとって「分かる授業」を目指して、教職員間で学び合いながら授業力の向上に励む。そして、児童が意欲的に学ぼうとする姿が見られる授業をしていく。
	児童が、主体的、対話的で深い学びができるよう指導方法を工夫している。	B	児童が自信を持って自分の意見を発表できるような学級づくりを心がける。児童が自分の意見や考えを発表し、友だちと話し合い聞き合いたくなるような授業を行う。
生徒指導	いじめや仲間はずれを許さない楽しく明るい学校生活を送れるよう指導を行っている。	A	学校生活の中でも、困っている友だちに声をかけたり、助けたりしている姿をよく見かける。今後も児童一人一人の共感的理解を深め、「いじめの未然防止」「早期発見」「早期解決」に学校全体で取り組んでいく。
	あいさつや基本的な生活習慣が児童に定着するよう、手立てができていく。	A	感染予防で手洗いができている児童が多い。すすんであいさつする児童も増加している。今後も、学級活動や道徳の学習また児童会活動を通して基本的な生活習慣が身につくように指導をしていく。
ふるさと教育	丹波篠山のよさを児童が見つけられるように、地域の人材・自然・施設を積極的に授業に活用している。	C	今年度は、感染症予防のため体験学習の機会が減っている。今後は、地域の人材を学校に招いたり、インターネット等を活用したりして、ふるさとについて学べる機会を増やしていく。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・学習面や生活面でも、子どもたちの意見を尊重し、自主的な取り組みを大切にしてほしい。「自分で作った」という意識が学ぶ意欲の向上や基本的な生活習慣の確立につながると思う。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・味間は人数が多いが何ができるか意見を出し合って、連携して味間の魅力を伝えたい。老人会でも高齢化しているが、地域と子どもがつながる活動をどう作っていくか、少しずつでも取り組めばできるようになってくると思う。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none">・質問の結果は家庭の事情もあると思う。貧困問題等もある。子どもの家での保護者との関係が学校生活にも影響しているのでは。低学年で基礎を積んでいなければ高学年に行くほど自信をもって発表できないだろう。マスクも外せる状況になれば、グループ討議なども積極的に取り入れて、話し合いで考えを交流するような授業にすることが大切。・児童・保護者ともに1割程度「学習がわからない」との回答。勉強についていけない児童は楽しい学校生活を送れているのか心配。朝のスキルタイムに加えて個別指導の工夫が必要と思う。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none">・生活習慣の定着ができていないと児童もいる。朝読書で落ち着いたクラスの雰囲気を作ることも大切。・あいさつがよくなったように感じる。大きな声で返してくれる子どもが増えたと感じてうれしく思っている。子どもの貧困問題は民生委員内でも心配な問題。朝ご飯を食べていない、準備をしてもらえないような子どもがいないか気を配ってほしい。また必要に応じて関係機関に繋いでほしい。
ふるさと教育	<ul style="list-style-type: none">・ふるさと教育について、昔遊びでの交流を計画したが、コロナの関係でできなかった。3年も事業をしなければ、人も変わり下地ができておらず再開が大変になる。急には難しいのでPTAも巻き込んで徐々に実施していけばいい。・取り組む際にはできるだけ早めに声を掛けてほしい。まち協でも3年も空き、高齢化もあるので、かなりの準備も必要になってくる。子どもたちの為にきちんと取り組みたいので、年間予定やしっかりとした打ち合わせをお願いしたい。